

おかげさまの心で 温かい朝食を

佐藤佳子さん(74)
秋田教会



石沢屋
〒015-0081
秋田県由利本荘市雪車町字元岡田 150-1



滝の前で、夫の司さん（75）と実母とでレストハウスを営んでいた。だが、ダム建設で集落が水底に沈むため、自宅とともに移転を余儀なくされた。移住した当初、故郷を離れた切なさが大きく、店の再開などは考えもしなかった。そんな中、「こんなときこそ仕事しては」と長男の孝征さん（50）に背中を押され、開店を決意。二〇二三年七月に現在の店をオープンした。店名は、地域に根づくようとに地域名を取った。一日の始まりに栄養満点の食事を提供するため、営業日の仕込み作業は午前三時から。忙しい日々で大切にしているのは「何事も当たり前ではなく、おかげさま」の心だ。感謝の思いで食堂を営めているのは、立正佼成会秋田教会で、多くの人に支えられて生かされていることを学んだからだという。「おいしい」と喜んでもらえることが原動力。元気なうちは続けたい」と佐藤さん。客の心とおなかを満たすため、今日も夜明け前から厨房に立つ。

秋田県由利本荘市の中心地から東に約十キロ、石沢地区の国道一〇七号線沿いに、午前五時から九時までの朝だけ営業する食堂「石沢屋」がある。取材に訪れた日、一番人気の日替わり「朝定食」には、白米に自家製みそきのこ汁、大根の漬物、レバーフライにサラダ、白菜のおひたしとかぼちゃの甘酢餡かけ、デザートのパインアップルが並んだ。

店主の佐藤佳子さんは「温かい料理でホツとしてもらえたたら」と笑顔を見せる。朝定食のほか、「麦とろろご飯」「もつ煮込定食」も好評。佐藤さんが畑で育てた野菜や近くで採れた山菜を使い、実母のワカさん（享年85）から受け継いだ“家庭の味”を心を込めて提供する。佐藤さんは長年、鳥海山の東麓にある法体の



*立正佼成会経営者サンガネットワーク「六花の会」

<https://rikkanokai.jp/community/>

2月1日から上記ウェブサイトでもこの記事がご覧になれます。